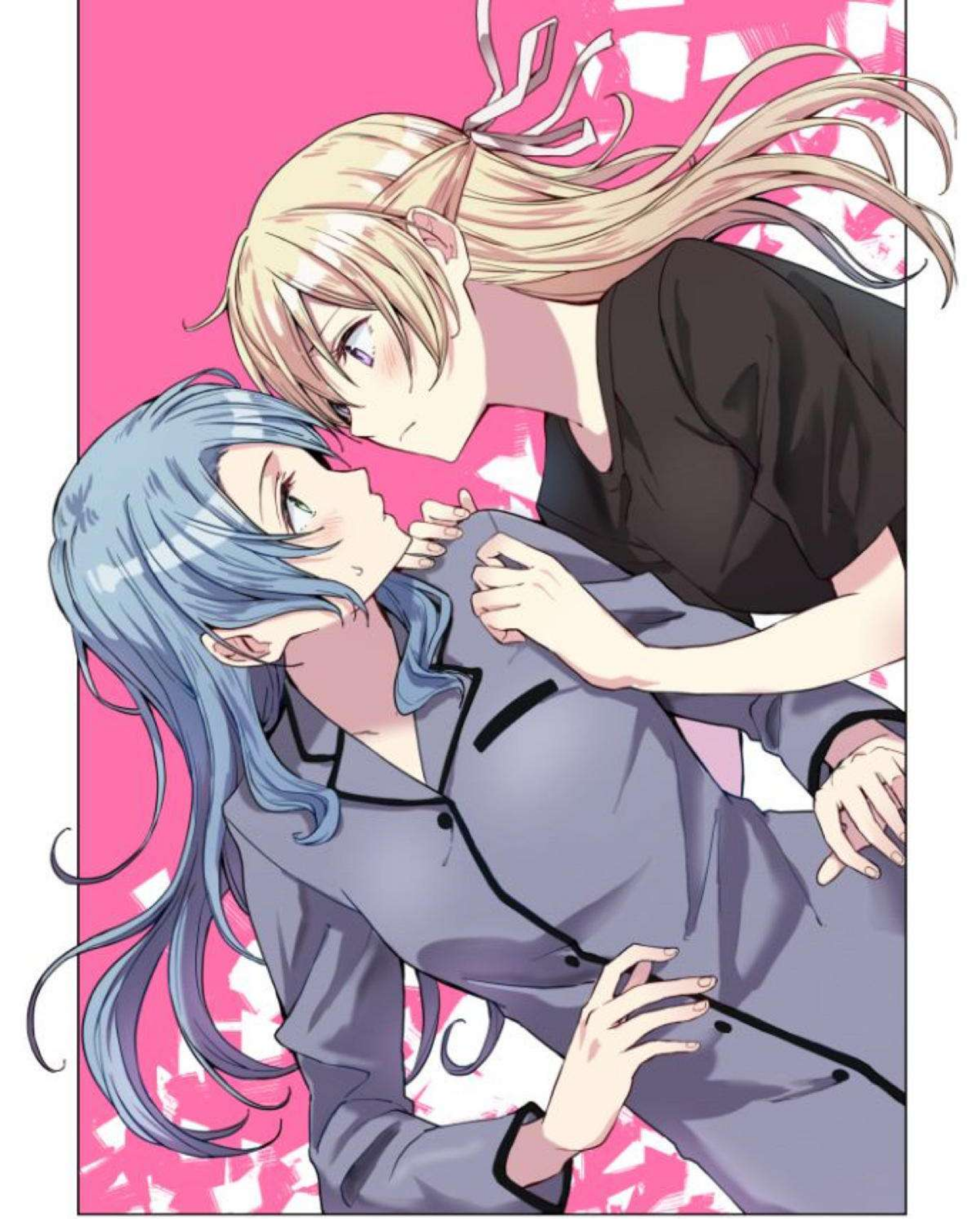

さよちさが えっちなことする本

氷川紗夜×白鷺千聖

FTNR ふたなり 両性具有

DOJIN R18 成人向け

18歳未満の購入・閲覧禁止

あれー

おねーちゃんたち
もう寝るの？

えぇ
明日は
出かけるつもり
だから

あなたも丸山さんを夜更かしに付き合わせるのはほどほどにして早く寝るのよ

え〜

ほどほどだって〜どうする彩ちゃん？

わ私もほどほどでいいと思うなぁ

あまり遅くまで起きてると肌に悪いわよ日菜ちゃん

ほら！千聖ちゃんもあぁ言ってるし

んーでもー

たにひっ

千聖ちゃんだってもう少し起きてやりたいことあるんじゃないの？…せっかくの泊まりだし？

そうなんですか？

…いいえ私はどちらでも

……

ねぇねぇ千聖ちゃん

……なに？

あたしがおねーちゃん
焚きつけてあげよっか？

そういうのはね

おせっかいって言うのよ？

日菜ちゃん

…あーぁ

怒られちゃった

え？千聖ちゃん怒ってた？

…それじゃおやすみなさい

二人とも紗夜ちゃんの言ってた通り…ほどほどにね？

あはは

うん！すっっっごい怒ってた！

そ、そうなんだ…

…なに言って怒らせたんだろ

あとなんで楽しそうなんだろ…？

…ねぇ
紗夜ちゃん
スゥ
スゥ
…よすぎて少し
憎たらしいわ
んん…
……相変わらず
寝つきがいいのね

…誘ってるの
毎回私だって
わかってる？

嫌がってるそぶりは
見せないけれど
最中は堅苦しい顔で
どこか事務的

「私」よりも
「作業」に集中
している様

そういうことは
好きじゃないの
かしら

それとも
私に魅力が足りて
いない？

いえ…きっと
そうではない
のよね…

私も緊張で
強張ってる自覚はある
紗夜ちゃんはそれを
感じ取ってるのかも
しれない

私に
彩ちゃんや
日菜ちゃんの
ような素直さが
あったら
…もっとかわいく
甘えられたら
少しは変わって
いたのかしら

…そんなこと
できたら
苦労してないわね

ジャ―――…

日菜ちゃんっ
もぅダメっやめっ…
やめてぇっ!!

ギクッ

…っ!?

ひ
日菜!!
丸山さんに
なにをしている
のやめなさい!!

や…
あ―――!!

おねーちゃん？

えっ…

……っ!?

ぎょっ

ほら
声おっきいって
言ったじゃん
もっと抑えないと
聞こえちゃうんだよ

あっ
…うぅ～…

あぁでも
お姉ちゃんで
ラッキーだったね

それにこんな機会
二度とないかも
しれないし
よかったかも？

よくないよぉ
紗夜ちゃん
ごめんなさい…

そう言う割に
彩ちゃんの中
さっきから
きゅ～って
なってるよ？

あっ
やぁ…

彩ちゃんは
恥ずかしいのも
好きだもんね

ギュッ

ギュ

そんなことない
もん…っ

彩ちゃんて
ほんと
嘘吐くの
下手だよねー

あはは

ねぇ
おねーちゃん

彩ちゃんのこと
見ててあげて？

み…見る…って…

はっ

はっ

あ……
紗夜ちゃん…っ
ごめ…
ごめんねっ…

彩ちゃん
ドア開いてるから
できるだけ静かにね

んんっ

ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅっ

ん

んん――っ

ビクッ

ビクッ

……っ
……はぁ～……

はー
はー
はー

んん…
日菜ちゃ…

ちゅ

うぁ～…
今の凄かったぁ

…きもちよかった？

うん！

そっかぁ
えへ…よかったぁ

おねーちゃんに
お礼言わないとね！

うん…

ありが……と…

えっ…

どどういたしまして…？

あぎ

うわ――!!
ごめんなさい
さよちゃん
ごめんなさい!!

彩ちゃん?
…あー…

じゃあ
また明日ね!

ぱたん

ごめん
おねーちゃん
彩ちゃんがパニック
起こしちゃったみたい
怒るなら
明日にしてもら
いい…?

え…あ…
ええ…

よかったー!

明日どんな顔して
紗夜ちゃんと会えば
いいのー!!

それは私が
聞きたいの
だけれど…!

……

…私たちとは
随分違った…

あぁいうことは
私と白鷺さんとの
関係の象徴のような
もので…
義務…に近いもの
なんだと
思っていたけれど

あの二人は
楽しそうだった

お起きてたんですか？

えぇ お手洗いを借りようと思って…今は誰もいないかしら

はい 大丈夫…

…誰か使ってる？

いいえ そんなことありません

…あの二人…いえ…もう終わってるはずよね…

…？

紗夜ちゃんが
情事の最中以外に
あぁなってるのを
初めて見た

生理現象と
言っていたし

そういう欲とは
違うのよね…？
放っておいて
いいのかしら

そういうこと…

ふぅん

おかえりなさい……？
えっ？
ドッ
し白鷺さんっ!?
ギシッ
ドッ
うぐっ
ぐっ

……っ
なにを…？

ねぇ
紗夜ちゃん

彩ちゃんの声は
そんなに
可愛かった？

ギクッ

え……

そうよね
元々可愛い声
だもの

「これ」は
そのせい
でしょう？

……っ
なにを言って…

ぐっ

ビリッ

いいのよ
隠さなくても

さっき廊下で聞いちゃったんでしょう声が漏れてたものね

あ あの二人まだしていたの……！

彩ちゃんの声に欲情した？

なっ…

ガバッ

違いますよ!!

！

ぱしっ

私はっ……！

……確かにきっかけは丸山さんですが

…その…白鷺さんのことを思い出してこうなったんです…

……私？

……はい

……ふーん…

そう…

…丸山さんには悪いですけれど少し怖かったですし…

ほとんど悲鳴のようだったものね

私もびっくりしたわ

ねぇ

……

スッ

これ

私のせいなんでしょう？

え…？

モゾッ

……っ

は!?

ズルッ

し白鷺さんっ
なにをして…っ

動かないで

ねぇ紗夜ちゃん
私ね
きっかけが
彩ちゃんだった
ってことは
許して
ないのよ

う…

ビクッ

大人しく
してくれるわね?

はい
はい……

…やり方が
わからないから…
なにか嫌なことが
あったら
すぐに言って
ちょうだい

…はい

くに
くに
くに
っ…
ピクッ
ん……
スリ
スリッ
どう…かしら？
ぶっ
ぶっ
は…っ
その……
もう少しだけ
力を入れて頂いてもいいですか？
…だダメでしょうか
あいえ…
つよく…するのね
…お願いします

んん…
う…
くたっ
ぐたっ
これくらいかしら…
ぬちゃ
ぬちゃ
…あっ
うぅっ
…ふふ
随分かわいい声が出せるのね？知らなかったわ
なっ
かからかわないでください！
嫌そうじゃなくて良かった…もっとよくしてあげたい
…舐めたりすると気持ちがいいらしいけれど
これを口に……

?
し白鷺さんっ!?
ぺちゃっ
な舐めっ…!?
ビクッ
あっ
ぐっ
ぷるっ
ちろ
ちろっ
へんな味…

白鷺さん…
そのそろそろ
…なので
離れてください

ん……

ぽくんっ

ぶっ

ビクッ

!?

なんで!!

っ!

ぅあ…っ!!

ビクッ

ビクッ

とくっ

ぷるっ

ん…

!!!
う…
はっ
はぁ
は…
!
はっ
だっ 大丈夫ですか！ ティッシュ…っ
はい これに出して ください！
んん……
……飲めるような ものでは なかったわね
あっ 当たり前 でしょう!?
しゅっ
あまり へんなことを しないで ください… 心臓に悪い ですよ…
は―!?
あら

そういう割に結構好きそうに見えたけれど？

…っ

うぐっ

ねぇ紗夜ちゃん？

どうだったかちゃんと聞かせて？

それは

その

まぁ…

よくなかったの？

いえ……はいよかったです…

ふふ それならよかったわ

じゃあそろそろ寝ましょうか？

……え？

…なに？

白鷺さんは
もう眠いですか？

…それなりに

そう…ですよね

…？
なにかあるなら
はっきり
言ってちょうだい

……んっ？

さよちゃん…？

えぇと…
なに…

ん

ぐっ

…あんな…

あんなことされて…そのまま眠れるわけないでしょう

…いいですか？

っ

…そういうこと

次からは…聞かないで

ギシッ

は…

はい…気を付けます…

どうして
そっちからなの

ね眠いと
言っていたので
手短にと…
思って

……
そういうの
いや

す…すみませ…

ぬるっ

っあ…

ちょ

ちょっと！

……はい？

モゾッ

…え

ーっ

バッ

し
白鷺さん
もう
こんなに…？

くちゅっ

んっ…
なにも
いわないで
バカ…！

っ

ドンッ

すみません
白鷺さん…
手短にというより

気が急いて
いるみたいです

スルッ

え？

えっ？

はっ…!?

あ…んんッ

ビクッ

ぬりゅっ

ぺろ

ぺろっ

…こんなやり方
私では思いつき
ませんでした

色々と
勉強不足
でしたね

ゲイ
ゲイッ

紗夜ちゃんっは…
やらなくて
いいのよ！
離して！

…いえ

…本当に嫌がってるようならやめますが

そう見えないので続けます

なん…っ

カアッ

ぴっ

ぴちゃ

う…っ

ふぅ…っ

んんっ…

プルプルッ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅるっ

ぱくぱくっ

チュプッ

チュプ

う…

ちゅぷっ

ちゅる

ぴちゃっ

ぴちゃ

んんっ…

はっ…

あッ…

ふっ
ひく
ひくっ
ツゥ
ふっ
チュウッ
きゅ。
きゅんっ
ブルッ
ブルッ
あっ…
くっ
は——…
…まさか紗夜ちゃんが真似してくるとは思わなかった
口でしたのは失敗だったかも…
はぁ——っ
ゴソッ
ビクッ
ミっ!?
ビート
ふっ
さ紗夜ちゃんっ?
はぁ
はぁ
白鷺さん…
ぬるっ
ぬりゅ

ぐっ
いれます…ね
や
まって
せめて息が整うまでっ…
あっ
あんっ
ぶるっ
ズプ
ぶるっ
ぶるっ
!

う……
白鷺さん…力…抜いて…
ハッ
ハッ
ハッ
ぷっ
フル
フルッ
ん…ん〜〜っ
ゲイッ

ギチ
ギチッ
あぅっ
ちゅる
ちゅっ
ズプッ
ズッ
ズッ
ドッ
ドク
はッ
あぁっ
やぁ〜っ
はっ
んぐっ
ふ
ふ
ん…
……
……?

ん…

声我慢しないで…？

ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ

ぐぷっ

ぐぷ

あっ

い…や…

いつもより…でちゃ…うから…

聞かせてください

はっ

はっ

はっ

でも

彩ちゃんのことを怖いって言ってたじゃない…

あ…

きゅっ

…確かに丸山さんの姿は恐怖を感じました

だけど…自分でも不思議なのですが

白鷺さんのことは愛しいと思えるんです

ズッ
ビクッ
んぁっ!!
だから大丈夫ですよ
ビクッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ぐちゅっ
ぐちゅ
……っ!!
ビクッ
っ
白鷺さん
んんっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
ビクッ
っ!!

ふっ
ギッ
ふっ
ギッ
ギッ
っ！
はっ
はっ
あぁ…
あぁ——ッ!!
あぁ
あ
あぅ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
ぎゅ
うっ…
ぎゅ
んん
ぎゅ
白鷺さんっ…
もっう…
で…ます…っ！
ズン
ぐぽっ
ぐぽッ
ズン
んぁっ…
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅ
んっ紗夜ちゃっ…
だし…
だしてっ！
あっ……あ…
……っ!!
ガク
ガクッ
ハッ
ハッ

く…
ぶるっ
ぶるるっ
あっ
あー
ぶるっ
ドンッ
きゅっ
きゅっ
ドクーン

チュッ
チュ
ハァ
ハァ
ハァ
はぁ
あ…
ふ
ふ
ピク
ピクッ
さよちゃ…ん…
フル
スー
スー
……
白鷺さん？

…おやすみなさい

おはよう
紗夜ちゃん

おはよう…
ございます

…今何時ですか？

11時を回った
ところね

え…っ!?

どうして
起こして
くれなかったん
ですか!?

アラームに
気付けないほど
熟睡している人を
起こすのは
気が引けたのよ

……

なんて…
本当は私が
動けそうになかった
からなんだけどね

あ……

…昼食
作ってきます

おなかは
すいてないから
いいわ

でも…

！

…はい

いいから

…もう少し
こうしていましょう？

このあとめちゃくちゃ詰められた

■ さよちさがえっちなことする本

発行日	2021年 8月 28日
発行	戦いの軌跡
pixiv	(pixiv.net/users/379256)
連絡先	(tatakainokiseki@gmail.com)
原作	Bang Dream!
印刷所	大陽出版 様

お読み頂きありがとうございました。

■本書を無断でネットにアップロードすることやオークションへ転売することを固く禁じます。